

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 35 号

目 次

1. 巻頭言	支部長 山川 健一	pp.1-2
2. 2025 年度 支部春季研究大会報告		p.3
3. 2025 年度 支部第 1 回役員会報告	事務局幹事 寺嶋 健史	p.3
4. 2025 年度 支部秋季研究大会発表応募要領		p.4
5. 2025 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』第 23 号投稿募集		pp.4-5
6. 事務局だより		p.5
編集後記		p.6
【重要】ニューズレター（NL）配信についてお願い		p.6

1. 巻頭言

中国・四国支部長 山川 健一

支部会員の皆様、毎日暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。このニューズレターがお手元に届くのは、前期の授業がほぼ終わるころではないかと思います。

2025 年 6 月より、岩中貴裕先生（山口県立大学）の後任として JACET 中国・四国支部の支部長を拝命いたしました安田女子大学の山川健一と申します。微力ではござ

いますが、支部運営に全力で取り組ませていただきます。よろしくお願いいたします。

私が JACET に入会して初めて参加した大会は、安田女子大学に入職した翌年の 1996 年の第 35 回大会（大谷大学）でした。その後、2006 年から中国・四国支部の研究企画委員、2010 年から本部運営委員を担当するようになりました。そして JACET に

入会してからちょうど 30 年という節目に支部長という責任ある仕事を担当することになり、感慨深いものがあります。諸先輩である先生方がこれまで築いてこられた立派な伝統をしっかりと引き継いで次に伝えたいと考えています。

さて、この 30 年間でさっと振り返ってみると、日本の英語教育は長い間ずっと大きなうねりの中にあっただと思います。三度の学習指導要領の改訂の中で、小学校での英語教育が徐々に制度化され教科化されました。また、実践的コミュニケーション能力という概念が提唱され、中高での授業はオールイングリッシュが基本となり、指導内容も増えていきました。また、タスク中心の指導、アクティブ・ラーニング、CLIL など様々な指導アプローチも生まれました。

テクノロジーの発達とともに、学習のツールや環境も変化してきました。紙の辞書から電子辞書への移行、LL 教室から CALL システムへの変化、コンピュータ性能の向上、コーパス言語学の研究成果の応用などが、日々の指導実践の発展に寄与してきました。近年ではコロナ禍の中、教育におけるデジタル化が急速に進みました。30 年前にインターネットが普及し始めましたが、今や学習者一人に一台のデジタル端末が配置される時代です。

評価方法については、「指導と評価の一体化」が言われるようになり、評価規準・評価基準の明確化とルーブリックの導入、パフォーマンス課題や形成的評価がさらに活用されるようになりました。それに伴い学習指導案のフォーマットもますます複雑化していきました。英語においては、CEFR や Can-Do の考え方が広く導入されるようになりました。大学入試においても、単なる知識の量だけではなく、思考力・判断力・表現力などのより深い学力を測定することを目的に、センター試験から共通テストに切り替わりました。英語に関しては、延期・再検討になりましたが英語民間試験導入も議論されました。

このような変化の中、英語教師にはさらなる英語力と指導力が求められ、悉皆研修、

教員免許更新制度の導入と発展的解消、英語外部試験のスコア活用などが行われてきました。

教育を取り巻く社会の影響については、21 世紀に入りグローバル化の波が到来し、様々な論争が起きました。「英語公用語論」「グローバル人材」「World Englishes」などの議論の中で英語教育の目的が再考されるようになりました。最近では、社会の構造的変容をもたらすような生成 AI の目覚ましい発達に我々は今直面しています。AI と社会・教育との今後の関係については、明確な未来予想図はまだ誰にも描けていません。そのような中、教員不足は深刻化の一途をたどり、基本的な指導体制すら維持することが難しい学校現場もあるようです。

以上のような 30 年間ですが、大学英語教育学会に所属する我々は、何を考え、どこに向かうべきでしょうか。学会構成員の多くは大学での英語教育に日々従事していますが、大学は一連の学校教育の延長であり連続しているものです。小中高における教育に無関心では成立しません。また、各自の専門分野はそれぞれ狭い領域の中で行われていると言わざるを得ないので、一点を深く掘り下げると同時に縦と横にも興味関心を持ち、英語教育全体を俯瞰して捉える必要があると思います。しかし、限られた個人の時間と力量では、それらすべてに向かい合うことはできません。そのためにも学会活動を通して、お互いの研究と実践から学び合う必要があるのだと思います。前支部長がよく言われていましたが、「忙しいときほど学会に行くべきである」というのは、このことをまさに言い当てていると思います。

引き続き、10 月 18 日（土）香川大学での秋季研究大会でも、学会員の皆様の活発な発表と交流を通して、我々の日々の研究と教育の営みがさらに意味を深めていくことを願っています。今後ともよろしく願います。

（安田女子大学）

2. 2025 年度 支部春季研究大会報告

6月7日(土)に、2025年度第1回中国・四国支部春季研究大会が就実大学で開催されました。大会には約30名の参加がありました。

総会と開会式に続き、研究発表が6件行われました。1件目は James Broxholme 先生 (Kagawa University) による “Student Perceptions of Pre-University English Language Learning: Satisfaction and Areas for Development”、2件目は Willey, Ian 先生 (Kagawa University) による “What We Talk About When We Talk About Empathy”、3件目は Gerardine McCrohan 先生 (Kagawa University) による “A Japanese Student’s IELTS Preparation Experience? A Case Study of an Intensive Workshop”、途中休憩を

挟んで4件目は金沢真弓先生 (吉備国際大学) による「国際言語としての英語に対する認識の導入：大学生の英語に対する意識の変化」、5件目は岡田美鈴先生 (宇部工業高等専門学校) による「CLIL型授業における英字新聞活動を通じた文法使用の認知的発達分析」、そして6件目は二五義博先生 (山口学芸大学) と伊藤耕作先生 (宇部工業高等専門学校) による「高専1年生に対する体育CLILの可能性(7)―英語を使用した Baseball 5 の授業を事例として―」でした。発表テーマは多岐にわたり、いずれも興味深い発表でした。

本研究大会で発表して頂いたみなさま、参加していただいたみなさま、そして会場校の就実大学のみなさまにお礼を申し上げます。

3. 2025 年度 JACET 中国・四国支部

第1回役員会報告

事務局幹事 寺嶋 健史

2025年6月7日(土)に2025年度第1回支部役員会が開催され、2025年度の活動、2025年度中国・四国支部人事、2026年度の事業計画について審議を行いました。

2025年度(後期)および2026年度事業計画についてお知らせいたします。

1) 2025年度秋季研究大会

日程：2025年10月18日(土)

場所：香川大学

2) 2026年度春季研究大会

日程：2026年6月

場所：安田女子大学

3) 2026年度秋季研究大会

日程：2025年10月

場所：松山大学

4) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』(第23号)

発行：2026年3月31日(予定)

・支部ニューズレター

発行：2025年7月31日(第35号)

2026年1月20日(第36号)

4. 2025年度 秋季研究大会発表募集要領

2025年10月18日(土)に2025年度支部秋季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部秋季研究大会

日時：2025年10月18日(土)

場所：香川大学

- A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)
- (a) 発表題目(Title)：日本語と英語
- (b) 種別(Style)：自由研究発表、実践報告、事例研究など
- (c) 氏名(Name)
- (d) 研究領域(Research area)
- (e) 概要(Abstract)：目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など。日本語の場合は600字以内、英語の場合は250 words以内とする。
- (f) 所属(Affiliation)
- (g) 使用機器(Equipment needed)

(h) 連絡先(Contact address)：メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2025年9月30日(火)

午後11時59分まで

■申込先

下記支部HPの申込フォームをご利用ください。

研究発表及び参加申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S23969810/>

(7月30日～9月30日まで申込み可能)

C) プログラムおよび発表スケジュール

詳細は支部会員ML、および支部HPでお知らせします。(支部会員MLへのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先

事務局幹事 寺嶋 健史

tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp

5. 2025年度『JACET中国・四国支部研究紀要』第23号

投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究発表を掲載する場として、年1回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。なお、昨年度から投稿規程が更新されています。投稿に際しては、支部HPより最新版の投稿規程をダウンロードの上、更新箇所をよく確認してから申込・投稿してください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

- 論文投稿申込締め切り：9月末
- 投稿原稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

※年次国際大会や支部大会で口頭発表されていない場合でも、紀要の投稿規程により、論文を投稿することはできます。

投稿先：支部HP フォームズから

仮題目提出

<https://ws.formzu.net/fgen/S42433433/>

投稿原稿

<https://ws.formzu.net/fgen/S47515527/>

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長

中山 晃（愛媛大学）

E-mail:

nakayama.akira.mm@ehime-u.ac.jp

6. ～事務局だより～

2025年1月から現在までの新入会員5名
をご紹介します。

★新入会員紹介★

鳥羽素子（岡山県立大学）
秋枝美佐（小豆島町教育委員会）
守田智裕（広島大学附属福山中高等学校）
中野修一（就実大学）
陳文淵（広島大学大学院生）
長谷川真紀（川崎医療福祉大学）
デスマレス エリック（岡山県立大学）
金城承紀（梅光学院大学）

（敬称略）

皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

2025年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしくお願ひいたします。

★支部人事★

【支部役員】

支部長 山川健一（安田女子大学）
副支部長 平本哲嗣（安田女子大学）
寺嶋健史（松山大学）
支部幹事（*は事務局幹事）
寺嶋健史*（松山大学）
山中英理子（広島国際大学）

支部会計担当者

小崎順子（川崎医療福祉大学）

支部研究企画委員（19名）

池野 修（愛媛大学）
岩中貴裕（山口県立大学）
ウィリー・イアン（香川大学）
上西幸治（福山大学）
カワモト・ジュリア（愛媛大学）
小崎順子（川崎医療福祉大学）
小山尚史（岡山大学）
高垣俊之（尾道市立大学）
ダンテ・ローレンス（就実大学）
寺嶋健史（松山大学）
中住幸治（香川大学）
中山 晃（愛媛大学）
二五義博（山口学芸大学）
平本哲嗣（安田女子大学）
松岡博信（安田女子大学）
三熊祥文（広島工業大学）
森谷浩士（岡山大学）
山川健一（安田女子大学）
山中英理子（広島国際大学）

紀要編集委員

中山 晃（委員長）（愛媛大学）
平本哲嗣（副委員長）（安田女子大学）
岩中貴裕（山口県立大学）
上西幸治（福山大学）
カワモト・ジュリア（愛媛大学）
寺嶋健史（松山大学）

松岡博信 (安田女子大学)

【本部委員】

理事 山川健一 (安田女子大学)
総務委員 (支部事務局幹事) 寺嶋健史 (松山大学)
財務委員 (支部会計担当者) 小崎順子 (川崎医療福祉大学)
国際大会担当 森谷浩士 (岡山大学)
セミナー担当 中住幸治 (香川大学)

【編集後記】

毎年のように今の時期は暑い日が続きます。私の家にはエアコンがないため、研究室や近所のスーパーで涼み、日が暮れた頃に帰宅する「エコ」な毎日を送っています。行きつけのかき氷店ではフルーツのかき氷を2～3杯食べて(一時的に)暑さを忘れませう。みなさまはどのように暑い日を過ごしていますでしょうか。

【重要】 JACET (大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について
支部長 山川健一 (安田女子大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 支部 HP (<http://jacet-chushikoku.com/>) にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ (<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。
3. ウェブの入力フォームに以下の【入力情報】を入力する。

JAAL in JACET 担当

二五義博 (山口学芸大学)
国際大会の Selected Papers 発行作業 平本哲嗣 (安田女子大学)
JACET 褒賞運営担当 池野 修 (愛媛大学)
国内外の学術団体・諸機関との協力 ウィリー・イアン (香川大学)
研究会 (JACET SIG) の総括 二五義博 (山口学芸大学)

10月の秋季研究大会は香川大学で実施予定です。その頃には暑さは引いて、過ごしやすくなっていることと思います。みなさまと香川でお会いするのを楽しみにしています。

寺嶋健史

【入力情報】

- 支部のメーリングリストに登録を希望しますか?
 - すでに登録している
 - 希望する
 - 希望しない(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)
- 登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の寺嶋までお問い合わせください。

アドレス: tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp

メールアドレスを変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国支部 Newsletter 第 35 号

2025 年 7 月 31 日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部 支部代表 山川 健一

編集 : JACET 中国・四国支部 事務局幹事 寺嶋 健史

発行所 : 〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4 番 2 号 松山大学 人文学部

連絡先 : E-mail: tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp